

行政視察報告書

令和 6 年 10 月 31 日

長浜市議会議員 高山 亨 様

長浜市議会議員 加納 義之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 会派 新しい風 行政視察研修
2. 視察期間 令和 6 年 10 月 7 日（月）～ 9 日（水）
3. 視察場所及び目的
 - ①兵庫県丹波市
「県立丹波医療センターについて」
 - ②島根県出雲市
「出雲市の新エネルギー施策について」
 - ③島根県松江市
「中心市街地活性化につて」

4. 調査内容感想等

・①視察の目的

- ・ 県立柏原病院と柏原赤十字病院の新病院への統合・再編について。
- ・ 地域医療構想に基づく医療圏域内での医療機能にかかる新病院での機能分担調整について。
- ・ 新病院における経営状況（統合・再編前との対比含む）について
- ・ 新たな地域医療構想を見据えての対応について
意見交換をする。

・①視察の内容

- ・ 新病院への統合・再編に至った背景について。2 病院の新病院建設に要した経費

長 浜 市 議 会

負担の状況について。2病院統合・再編までの会計処理等の精算調整について。2病院が統合・再編まで保有していた医療機器等の取扱いの対応について。2病院統合・再編に伴う派遣医師等の受け入れ調整について。2病院統合・再編に伴う病院医療従事者の受け入れ対応について。赤十字病院が担っていた特別診療等の新病院への移管について。隣接する「丹波市健康センターミルネ」の役割及び連携について。新病院統合・再編に関して特に苦慮した点について。地域医療構想に基づく医療圏域内での医療機能にかかる新病院での機能分担調整について。新病院における経営状況について。「新たな地域医療構想」を見据えての対応について。意見交換をし施設の見学をする。

・①行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

・ 県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合により一つの病院のもとで一貫した良質な医療が提供できることが可能になったこと。中堅医師の充実により患者数・症例数が増加するとともに指導体制の強化が図られ魅力ある病院づくりが進んで若手医師の増加につながっていくこと。統合の結果としての医師数の増加や、病院の魅力向上の効果としての医師数の増加により、救急をはじめとした診療機能が向上したこと。医師数の増加や診療機能の回復・向上に伴う患者数の増加により、病院経営が改善されたこと。統合により、施設整備に対する二重投資が回避できたこと。このようなことを総合的に勘案すると長浜市の診療機能を再構築し、今後とも安定的・継続的に良質な医療を提供していくためにも経営を一体化し診療再編を行うことが最も望ましいと思う。

・②視察の目的

- ・出雲市の新エネルギー施策について
- ・いずも縁結び電力株式会社（地域新電力）の取組について
- ・出雲市次世代エネルギーパークについて

・②視察の内容

- ・令和3年5月に出雲市長施政方針として「本市においても豊かな自然と人の営みが調和する、かけがえのないふるさと出雲を次世代につないでいくため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロをめざしゼロカーボンシティに挑戦することを宣誓いたします。」とゼロカーボンシティへの挑戦を宣言され、そこからゼロカーボンシティ推進室の新設、出雲市環境総合計画等脱炭素社会構築実現に向けた取組が始まる。いずも縁結び電力株式会社（地域新電力）の取組や出雲エネルギーセンター、出雲市次世代エネルギーパークの内容を研修した。

・②行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

- ・出雲市はエコな電気を作っているのに、再生可能エネルギーを地域で活用する仕組みが構築できておらず、域内の需要と供給をつなぐ役割が不足しているとの課題から太陽光発電や廃棄物発電など地域内で作り出された再生可能エネルギーを地域内で活用するエネルギーの地産地消の取組を推進するため、地域の再生可能エネルギーの発電と消費の縁結び役となる地域新電力会社を設立された。最先端の新しいゴミ処理施設・地域新電力会社の取組等先進的な取組をされている。本市も今ま

さに新しいゴミ処理施設、地域新電力会社で始まろうとしています。一步先に進んでいる出雲市の事例は大変参考になると思う。

・③視察の目的

・松江市の中心市街地活性化について

・③視察の内容

・中心市街地活性化の目的は、超高齢化と少子化による人口の大幅な減少が見込まれるわが国において、今のうちからコンパクトで住み良いまちづくりに取り組むことで、将来に備えておこうとする取り組み。①市民活動の支援 ②基本計画への反映 ③元気なまちにするための取組を支援 この3つの役割を担うことで、コンパクトで住み良いまちづくりの実現をめざしている。市民活動の支援は、市民自らが創意工夫し、自らがプレイヤーとなり住み良いまちづくりを進めていくための支援。基本計画への反映は、市町村による基本計画の策定や変更、実施については、市民共通の思いを把握し反映させる。元気なまちにするための取組支援では、官民を問わず、あるいは協働で、様々なまちづくりへの取り組みがなされ、市民がそこに生き生きと関わっていくための支援。以上の内容の詳細を研修した。

・③行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

・中心市街地の活性化を図り、市勢の発展に寄与するため、幅広く意見を集約し、まちづくりを推進していくために松江市中心市街地活性化協議会が設立されました。

協議会の体制として、松江市中心市街地活性化協議会まちづくりコーディネーター・サポーターと松江市中心市街地活性化協議会事務局（松江商工会議所まちづくり推進部）と松江市の関係部局（松江産業経済部商工企画課、観光部観光振興課、まちづくり部都市政策課、都市整備部大橋川治水 国県事業推進部）の構成。官民一体となり松江市中心市街地活性化に取り組んでいる。本市も中心市街地活性は大きな課題であるが、今日まで取り組んでいる。松江市は県庁所在地であり、国宝松江城、堀川めぐり、塩見縄手、宍道湖、松江宍道湖温泉、玉造温泉と一流の観光地があるにも関わらず中心市街地は閑散としている。本市は、松江市と比べれば交通の便も良く大都市にも近い。それを生かさずして中心市街地活性化はあり得ないと思う。